

191 春うらら

朝散歩の途中どこからともなく良い香りがする、と思つたら沈丁花でした。気がつくど、大型マンションの公開空地や個人宅の庭で見られるようになりました。春とはいえ吹く風が冷たい日が続いていたのに、お彼岸が近づくと暖かくなるのを感じられます。うれしくなって八ヶ岳南麓に住む友人に久しぶりにメールを送つたら、今雪かき中という返信が来ました。そういえば、八ヶ岳山麓では3月、ともすると4月に入つても雪が降る事を思い出しました。とはいえ横浜の住まい付近では、梅の見頃はとうに過ぎ、河津桜が散り始めています。暑

八ヶ岳の風に吹かれて

しのむ  
コラム

ごとうるみ

さ寒さも彼岸まで、と言われるように、春のお彼岸が過ぎたら花々が一斉に開き始めるのではと楽しみにしています。ところで、八ヶ岳の友人に連絡したのは、東京・青山で開かれる講演会に参加するためでした。阿久復活プロジェクトの協力で、「古代の智慧に学ぶ」というセミナーが二部構成で行われました。阿久や古代という言葉から縄文時代が想起されますが、実際は超古代の話でした。知人が講師のひとりを務めるからというところ、都内開催という近きで参加を決めました。スピリチュアルな内容をコラムで書くことも

サロンで学ぶ古代の智慧とは



円盤型の未確認飛行物体に見えなくもない、芸術的感性の縄文土器 (撮影©Kotaro,s)

少なくない私ですが、実は精神世界といわれる分野には及び腰です。しかし、興味はあるので、信頼している人をナビゲーターに恐る恐る足を踏み入れている、というのが正直なところです。縄文時代前期の祭祀場跡と言われている阿久遺跡も、ドラ

イブがてら昔からの知人に連れられて知りました。古代の智慧を学ぶセミナーは、東京を皮切りに八ヶ岳南麓で4月から12月までに4回開かれるとのことです。講師は東京と同じくRyuzo(田畑治)さんとMajoro(松村雅子)さんで、場所は北杜市小淵沢町のギャラリー桃李です。午後からの開催につきカフェランチが事前予約できます。仕事の都合をつけ、日帰りで参加したいと思つています。新年早々の能登半島地震以来、東京近郊では地震への不安がいっそう高まっているようです。備えるのはもちろんのことですが、過剰な不安に怯えるのは得策ではありません。気分転換

には近郊への日帰り旅行が効果的と、ある精神科医がユーチューブで発信していたことを思い返しました。半年ほど半月板の故障で、母に会いに帰省する以外は遠出を控えていましたが、そろそろ出かけたくなる季節でもあります。20数年過ごした心のふるさと八ヶ岳南麓から、リハビリがてらの日帰り遠出を始めようと思えます。



ごとうるみ 文筆家。キャリアアコンサルタント、イメージコンサルタントとして新たな活動を開始。ほぼマクロビオティックな食生活や伝統的なヨガも実践。宮城県出身。父祖ゆかりの八ヶ岳南麓と横浜をゆるやかに行き来してシンプルな暮らし実践中。